

令和02年12月（第4回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 宮川 隆 議員

1 コロナ禍における来年度予算編成方針に変化はあるのか

- (1) 8月21日に総務部長名で示された「令和3年度予算編成方針について」の通達発行から取り巻く情勢に変化があると感じるが歳入面での修正は行われるのか。
- (2) コロナ感染拡大防止策を前提とする中での地元産業の下支え策の考えはあるのか。
- (3) 年金・医療の自然増が避けられない中での社会保障、特に生活困窮者対策の考え方をお聞きしたい。

2 野木森新教育長に所信をお聞きする

- (1) 「個」を大切にできる社会風潮の中での「集団」としての学校教育の在り方についての所見。
- (2) 生涯学習の観点から歴史・文化及び体育の振興に対する所見。
- (3) 将来の社会を担う子育て支援の在り方についての所見。
- (4) 総合的な視点からの考え方。

2 片岡 健一郎 議員

1 超高齢化社会を迎え一人でも安心して暮らせる岩倉市に向けた取組について問う

- (1) 現状の単身高齢者への支援体制はどうか。
- (2) 身寄りのない単身高齢者が亡くなった場合の岩倉市の対応について。
- (3) 岩倉市が身寄りのない高齢者に向けて終活を支援するような事業を検討してはどうか。

2 プラスチックごみ減量に向けた取組について

- (1) コロナ禍におけるテイクアウト需要の拡大を受け、プラスチックごみの推移はどうか。
- (2) 市が主体となって飲食店と環境問題に取り組む協議体を構築してはどうか。
- (3) SDGsに代表される持続可能な環境問題への取組を推進する飲食店への支援についてはどうか。

3 固定資産の再評価について

- (1) 固定資産の再評価をするタイミングは現状あるのか。
- (2) 建築確認申請が必要ない大規模なリフォーム等により固定資産の価値が上がった際、固定資産の再評価をすべきではないか。
- (3) 公平な税の徴収を鑑みたとき、例えば築50年経過した建物は再評価のためのチェックをするなどの手法は取れないか。

4 子育て環境の充実に向けた取組について

- (1) 全小中学校へのタブレット導入に向け、休校の際の体制を事前に整えるため双方向によるオンライン授業を試験的に実施してはどうか。
- (2) 高校生まで医療費無料の拡大の検討状況を問う。

3 堀 巖 議員

1 コロナ禍における不登校、虐待、自殺の問題について問う

- (1) それぞれ全国的に増加しているという報道があるが、岩倉市の状況はどのようなか。
- (2) コロナを機に、学校に来づらくなった子どもたちの状況はどのようなか。
 - ① 学習速度についていけない児童・生徒がいるのではないか。
 - ② マスク着用がストレスになっている児童・生徒はどれくらいいるのか。
 - ③ 給食が楽しくなくなった児童・生徒がいるのではないか。
- (3) 赤ちゃん訪問の状況はどのようなか。
- (4) コロナ禍、そして核家族化やシングル化が進む中で孤立化し、悩みを抱えている人たちの状況はどのようなか。
- (5) コロナ禍における自殺者数の推移をどのように捉えているか。また、今後の対策はどのようなか。

2 岩倉出身で活躍している人たちにもっと焦点を

- (1) 活躍している人たちをどのように把握しているか。
- (2) 様々なアプローチで応援することで、まちの活性や子どもたちの希望になるのではないか。

3 外国人の方々の市民参加について問う

- (1) 住民基本台帳に登録されている岩倉市民である外国人の推移はどのようなか。
- (2) 市民活動団体に占める外国人の割合の推移はどのようなか。
- (3) 第5次総合計画における計画策定過程において、どの程度、外国人の意見が反映されているのか。
- (4) 外国人の労働者が今後も増えていく中、市民として意見を聞き、施策に反映していく必要があると考えるがどうか。

4 木村 冬樹 議員

1 平和行政のさらなる推進を

- (1) 自衛官募集への「協力」について、いつから「抽出閲覧」になったのか。また、その理由は。
- (2) なぜ、自衛隊は迷彩服着用で市の防災訓練に参加するのか。

- 2 マイナンバーカードの普及は進むのか
 - (1) なぜ、交付円滑化計画を改定したのか。
 - (2) 今年10月、11月の交付枚数は。
 - (3) 政府の普及に躍起になっている姿勢をどう見ているのか。
- 3 国民健康保険は県単位化でどこに向かうのか
 - (1) 国民健康保険が持つ「構造的問題」を再確認する。
 - (2) 愛知県の「国保運営方針」見直しの状況、来年度の納付金・標準保険料率は。
 - (3) コロナ禍で今年度の保険給付費の状況は。
 - (4) 国保税の引き下げを求める。
- 4 安心して利用できる高齢者福祉事業・介護保険事業に
 - (1) 地域包括支援センターの土日祝日の対応はどうなっているのか。
 - (2) 高齢者のごみ・資源の自宅回収を制度として実施できないか。
 - (3) 配食サービスの改善を。
 - (4) 緊急通報システムのアセスメントの見直しを。
 - (5) 介護保険被保険者証の有効期間はどうか。
 - (6) コロナ禍で今年度の保険給付費の状況は。
 - (7) 介護保険料の引き下げ、応能負担の強化を求める。

5 関戸 郁文 議員

- 1 来年9月に発足をを目指すデジタル庁の業務概要が明らかになったが岩倉市の対応について問う
 - (1) 地方自治体のシステムはどのようになるのか。
 - (2) システム運用費を30%削減するとあるがどのように進めるのか。
 - (3) 第5次総合計画にはどのように反映させていくのか。
 - (4) デジタル化推進で脱炭素社会を目指すとするが岩倉市ではどのように対応するのか。
 - (5) デジタル化に伴い岩倉市での行政手続きはどのようになるのか。
- 2 オンライン相談、オンライン会議、オンライン授業などオンラインで行うことができる事業についての状況について問う
 - (1) オンライン相談事業の現状はどうか。
 - (2) 「AI総合案内サービス」の状況について問う。
 - (3) オンライン会議システムを導入してはどうか。
 - (4) 学校でのオンライン授業はどのように進んでいるのか。
- 3 市職員の働き方について問う

- (1) テレワークの現状について問う。
- (2) 時差出勤の現状について問う。
- (3) AI-OCR及びRPAの活用による業務の効率化や生産性向上の状況はどうか。

4 コロナ禍における選挙について問う

- (1) 投票所のコロナ対策は万全か。
- (2) 郵便投票、電子投票の導入の研究を。

6 黒川 武 議員

1 ウィズコロナにおける行政経営について

- (1) 産業振興について問う。
 - ① 新型コロナウイルス感染拡大による中小企業・小規模事業者への影響をどのように捉えているのか。
 - ② 地域産業活性化推進協議会は、コロナ禍においてどのような取組をしているのか。
 - ③ サテライトオフィスの誘致で、まちの活性化を。
 - ④ テレワークステーションを開設してはどうか。
- (2) 大学等との公民連携について問う。
 - ① 名古屋大学との共同研究に新型コロナウイルス感染症対策を取り入れてはどうか。
 - ② 日本福祉大学との6分野連携協定に「ウィズコロナのまちづくり」を追加してはどうか。
 - ③ 大塚製薬株式会社との「健康づくり等に係る包括的連携に関する協定」に「感染症対策に関すること」を追加してはどうか。
- (3) 財政運営について問う。
 - ① コロナ禍における財政運営をどのように考えるのか。
 - ② 令和3年度予算編成方針等について問う。

7 井上 真砂美 議員

1 石仏駅周辺の魅力度PR（紹介）は定まっているのか

- (1) 石仏駅周辺の「周辺案内看板」を活かし、井上城跡・七面山古墳・山神と続く「散策パンフレット」などがあるとよいがいかがか。
- (2) 名神高速道路高架下の駐輪場増設の計画は定まっているのか。
- (3) ロータリーや周辺、橋脚を美しくする計画は定まっているのか。
- (4) 高架下で、「憩いの場」や「買い物の場」を創出したり、「緊急時」等に利用したりすることに課題はあるのか。

- 2 魅力度アップのごみ収集を工夫してはどうか
 - (1) 「ごみ集積場所」を枠状にして、デザイン画を付けるなどして美的な場所にすると景観がよくなり、まちの好感度も上がると思うがいかがか。
 - (2) 作業員の制服を工夫できないか。
- 3 将来を見据えた「農地保全」と「就農者」について
 - (1) 新規就農者を育成するためにどのようなことを行っているのか。
 - (2) 令和元年開始の「農地バンク」の活用を促したい。
 - ① 問題点はどのようか。
 - ② 解決策としてどのようなことがあるのか。
- 4 新型コロナウイルスを「正しく恐れる」ためにどのような施策を講ずるのか
 - (1) 大塚製薬株式会社と協定を結んだが、「健幸都市宣言」をした市民の生活にどのように活用していくのか。
 - (2) コロナ禍で市民の健康不安は大きくなっている。講演会や地域サロンに出向いていただき、相談に乗っていただきたいがどうか。
 - (3) 「岩倉市公式LINE」を利用して、不安を抱える市民の相談に、映像を通して伝えることは無理があるのか。

8 榎谷 規子 議員

- 1 市民の健康を守る市政を
 - (1) コロナ禍で特定健診がなくなりそれに代わる人間ドックはどれだけの市民が利用できたのか。
 - (2) 75歳以上の高齢者にも、人間ドックに助成を。
 - (3) 県の後期高齢者医療保険広域連合に働きかけを。（人間ドックの助成について）
 - (4) 今後の特定健診については個別健診（市外の医療機関でも）を実施していくべきではないか。
 - (5) 75歳以上の高齢者の医療費窓口負担を1割から2割にすることについてどう見ているか。1割分を市が負担することを検討できないか。
 - (6) インフルエンザ予防接種をすべての希望する市民が受けられるように。
- 2 子どもの学ぶ権利を保障し、一人一人を大切に作る少人数学級を
 - (1) 少人数学級の実現を国に求める署名、地方議会の意見書等の動きをどう見ているか。
 - (2) 来年度の児童・生徒数の状況はどうか。40人いっぱい（36人以上）のクラスはどれくらいになる見込みか。
 - (3) まずは、すべての学年で35人学級の実現を求める。
- 3 父母の労働を保障し、子どもたちの発達を保障する保育の充実を

- (1) 来年度の入園希望状況はどのようなか。
- (2) 保育士不足と言われる中で、すべての子ども・父母の希望を受け入れられるようになっているか。
- (3) 待機児が出るようなことはないか。
- (4) 余裕のある保育士配置になっているか。

4 人事管理について問う

- (1) 障害者雇用については、ハンディキャップを持っている部分へのサポートはどのようなか。働きがい・やりがいにつながるようなサポートがされているか。
- (2) テレワークの状況はどうなっているか。

9 大野 慎治 議員

1 小中学校の屋内運動場（体育館）に空調設備を導入するべきではないか

- (1) 現状について問う。
- (2) 計画的に空調設備を導入するべきではないか。

2 電柱の傾きについて問う

- (1) 現状について問う。
- (2) 対策・対応はどのようにするべきなのか。

3 ごみ収集車を活用して広報活動・情報発信するべきではないか

- (1) 現状について問う。
- (2) 広報活動・情報発信に活用することはできないか。

4 市の花について問う

- (1) 市の花がつつじに決まった経緯は。
- (2) 市の花にサクラを追加することはできないか。

5 避難所看板を更新するべきではないか

6 真光寺橋の説明看板を更新するべきではないか

10 伊藤 隆信 議員

1 コロナ禍の中、現状と対策について

- (1) 現状の新型コロナウイルス感染症の拡大をどう見るか。
- (2) 庁舎内の新型コロナウイルス対策は万全か。
- (3) 新型コロナウイルス感染者の実態と後遺症の現況は。
- (4) ひきこもりが増加しているが、対策を問う。

- (5) 寒くなる季節を迎え、ツインデミック対策を問う。
- (6) ワクチンが世界各地で開発されているが、今後の見通しを問う。
- (7) 本市の直近の税収と今後の見通しは。
- (8) 投票率アップに、郵便投票の現状と拡大を問う。
- (9) 給付金についての考えを市長に問う。

2 学校教育について

- (1) 学校内での新型コロナウイルス感染症対策を問う。
- (2) 全国的にいじめが増加しているが、現状と対策は。
- (3) ストレスから不登校が問題になっているが、現状と対策は。
- (4) 新型コロナウイルス感染症への警戒が続く中、学校生活や人間関係の変化について教育長の考えをお聞きしたい。

3 消防・救急について

- (1) 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、現状の消防本部の体制を問う。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の疑いのある救急患者の対応を問う。
- (3) 本市の救急車と消防車の同時出動の現状を問う。
- (4) 消防庁のP A連携とはどういう体制か。

4 街路樹等の維持管理について

- (1) 街路樹の現状と、問題のある場所の対応を問う。
- (2) 五条川の桜並木と街路樹の位置づけを問う。
- (3) 交通安全上、危険な雑草の対策を問う。
- (4) 迷惑樹木の現状と対策を問う。

11 鬼頭 博和 議員

1 市民に向けた行政手続きのデジタル化（オンライン申請）について

- (1) 行政手続きのデジタル化（オンライン申請）の現状は。
- (2) マイナポータル「ぴったりサービス」における本市の活用状況はどのようか。
- (3) マイナポータル「ぴったりサービス」の未活用メニューについての考えはどのようか。
- (4) 行政手続きにおけるオンライン申請の利用拡大をすべきではないか。

2 行政手続きの押印廃止について

- (1) 行政文書における押印廃止のこれまでの取組はどのようか。
- (2) 市民に向けた行政文書の押印廃止についてはどのような検討を行っているのか。
- (3) 押印廃止への今後の取組はどのようか。

12 谷平 敬子 議員

- 1 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成について
 - (1) ワクチン接種の現状はどのようなか。
 - (2) ワクチンの効用について認識はどのようなか。
 - (3) ワクチン接種費用の助成を求む。
- 2 3歳児健診の視覚検査について
 - (1) 本市における視覚検査方法と検査結果はどのようなか。
 - (2) 幼稚園、保育園で視力検査は実施されているか。また、その必要性についての考えはどのようなか。
 - (3) 視力検査に屈折検査機器の導入を求む。

13 須藤 智子 議員

- 1 人にやさしいまちづくりを考えよう
 - (1) 自転車道、歩道の整備について。
 - (2) 踏切内の歩道整備について。
- 2 ケアラー（介護者等）を支援しよう
 - (1) 全国初の埼玉県「ケアラー支援条例」についての見解を。
 - (2) ケアラー支援と体制整備を行うべきではないか。
- 3 新教育長に問う
 - (1) 教育長の教育信念を問う。
 - (2) 岩倉市の子どもたちへの思いを問う。

14 水野 忠三 議員

- 1 ごみ集積場所の課題を問う
 - (1) ごみ集積場所に関して、市民の方々からどのような意見・要望が特に多いか。過去の議論はどうだったか。
 - (2) カラス対策の現状は。ネットの材質は大丈夫か。
 - (3) 将来的な課題として、カラスの捕獲・駆除等も再検討すべきではないのか。
 - (4) ごみ出しマナーのさらなる普及はどのように考えるか。
 - (5) マナー普及については、特に多言語対応の拡充がさらに必要ではないのか。
- 2 令和3年度予算編成方針を問う
 - (1) 現時点で、我が国の経済・予算状況をどのように認識しているか。

- (2) 本市の令和3年度の予算編成・財政見通し(歳入・歳出)について、市民の方々に特に伝えたい内容はあるか。
- (3) 「基本的事項」の方針内容を財政の効率化の観点から問う。
- (4) 「歳入に関する事項」の方針内容を問う。
- (5) 「歳出に関する事項」の方針内容を問う。

3 令和3年度税制改正の議論との関連で問う

- (1) 固定資産税について、「透明性の観点から納税者に算出過程を通知すべき」との意見があるが、どのように考えるか。
- (2) 空き家対策の強化として、固定資産税について条例等で経過措置を講ずることは可能か。(許容性) また、本市において、固定資産税の経過措置は必要か。(必要性)
- (3) 本市の法人市民税の超過課税の現状及び課題は。
- (4) 将来の課題として、条例による新規の目的税導入など、自主財源の確保のための検討をより一層進めるべきではないのか。